

地域医療連携だより

えん

発行日：令和8年8月 発行所：富山赤十字病院 富山市牛島本町2丁目1番58 TEL. 433-2492 発行責任者：時光 善温

長寿社会における眼科治療10年の変化

眼科部長 辻屋 壮介

日本人の平均寿命は男性81.09歳、女性87.13歳(2024年厚労省)となっています。この数字は若くして亡くなった方を含めて平均しています。そういう若くして亡くなった方を除いて計算すると平均寿命はもっと長くなります。つまり病院の外来でお会いする現在60歳代・70歳代の患者さんは、今後90歳代もしくは100歳まで長生きします。今はそういう時代になっています。

寿命が長くなり医療でも変化が生じています。直近の10年だけみても、治療法や病気に対するアプローチに変化が生じています。

眼科領域では①白内障②緑内障③加齢黄斑変性症がその代表例です。

①白内障は60歳くらいから出現し年齢とともに徐々に進行します。80歳くらいになって矯正視力が(0.7)を下回り、運転免許更新のために白内障手術を受ける、というのが一般的な経過です。

高齢者であっても求める視力の質は高くなっています。運転寿命の延長やパソコン・スマホの利用が原因です。ここ10年の変化として眼内レンズに「乱視用」や「多焦点」という付加価値が付いたものが一般的になりました。

②緑内障は視神経が減少していく病気です。視神経の減少に伴い視野が欠けていきます。眼の圧力(眼圧)を下げることでその進行を遅らせることができます。

以前は緑内障に対し点眼治療が第一とされていました。点眼を4剤使用しても進行が抑えきれない症例に手術治療を行う、というのが一般的な考えでした。

ここ10年でその考え方に変化が生じています。平均寿命が延びたため、より長く視野を温存する必要が出てきたためです。そのため早期から「より効果の高い治療」を選択しようという考えになってきました。具体的には点眼を1剤使用して進行が抑えきれない時はレーザー治療や手術治療を施行する、というものです。その背景には安全なレーザー装置の開発や安全な手術手技の開発があります。未だ治療の決定的なレジメには至っていませんが治療の優先順位に変化が生じてきていることは間違いありません。

③加齢黄斑変性症は網膜の中心である黄斑部が障害される病気です。加齢とともに黄斑部の血の巡りが悪くなり、新生血管と呼ばれる悪い血管が生じてきます。新生血管は構造的に弱く、容易に出血したり滲出液が漏れたりします。黄斑下に貯留した出血や滲出液は視細胞にダメージを与え視力を低下させます。進行した加齢黄斑変性症では視力(0.1)以下になることも珍しくありません。

ここ10年で抗VEGF治療と呼ばれる治療が一般的に行われるようになりました。抗VEGF抗体と呼ばれる薬品を眼球内に注射で投与します。抗VEGF抗体は新生血管に作用してそれを消退させます。その結果黄斑部の出血や滲出液が消失し視力が維持できます。ただし眼内に注射された薬品は2ヶ月ほどで濃度が半分になります。薬効が低下すると再発しやすく定期的に注射治療が必要になります。

10年という短い時間の中でも医療は変化しています。最新の情報に触れ臨床の場に活用していく姿勢の大切さを実感として理解する次第です。



小児口腔外科学会認定研修施設に認定されました！

歯科口腔外科部長 石戸 克尚

こんにちは！歯科口腔外科の石戸克尚です！

2026年1月1日付で、富山赤十字病院 歯科口腔外科は小児口腔外科学会認定研修施設に認定されました！これは県内初の認定になると思います。同時に私が同学会の認定医・指導医に認定されました。県内には現在、小児口腔外科の指導医はほとんどいないため、数少ない指導医となりました。

小児口腔外科というと何が違うのか？と言われると、一般的な虫歯の治療や予防的な処置ではなく、小児期に特有な、口唇口蓋裂などの先天異常の治療、顎咬合の発育異常の治療、腫瘍性病変・嚢胞性疾患の治療、顎顔面外傷の治療、などが挙げられます。当院では口唇口蓋裂などの治療に関しては行っておりませんが、富山大学附属病院 顎口腔外科・特殊歯科と連携して対応しています。当院で対応しているなかで最も多いのは埋伏している歯の抜歯であり、上の前歯の真ん中に生じる、余分な歯である過剰埋伏歯の抜歯や、萌出位置に問題のある親知らずの抜歯などを多く対応しています。難易度の高い抜歯となることが多いほか、小児では恐怖心などからなかなか局所麻酔での処置が困難な場合が多いため、できるだけお子さんとご家族の苦痛を減らし、安全に手術ができるように全身麻酔下での処置を多く行っています。また、近隣の歯科矯正科、小児歯科の先生方と連携し、埋まっている歯を開窓して牽引し、歯列に参加させるような開窓・牽引手術も行っています。

近年では、子どもの運動機能の低下が指摘されており、この20年で小児の転倒による受傷の頻度が2倍になっているという報告もあります。もともと小児は身体の発育上、頭部の比重が大きいため転倒しやすく、顎顔面外傷に遭遇する機会が多いとされています。当院でも、転倒などによる小児の顎顔面外傷の患者さんは頻繁に受診されており、夜間や休日にも可能な限り対応を行っています。しかしながら、「ぶつかって口の中から血が出たけど、すぐに止まったから大丈夫」、「乳歯だからいずれ抜けるし大丈夫」と考え、様子を見ていたところ、なかなか痛みが取れなかったり、じわじわ出血が持続したりするため、数日後に当科を受診され、実は縫合が必要であった場合や、歯やあごの骨が折れてしまっていた場合が比較的多くあります。また、乳歯はあまりに早く抜け落ちてしまった場合、残った臨在歯が傾斜してしまい、萌出スペースがなくなって永久歯が萌出できなくなってしまう場合もあります。小児の場合は口が小さく、裂創があったりしてもわかりにくい場合も多いです。一方で、治癒も早いため、処置

を行わなくても治るような外傷の場合もありますので、専門的判断が求められることが多いと考えます。

口腔内の異常や外傷など、お悩みのことがございましたら小さなことでも大丈夫ですので、是非ご相談ください。小児口腔外科学会の研修施設として、できる限り迅速に、丁寧に対応させていただきたいと思います。



富山赤十字訪問看護ステーションの紹介



当ステーションは、地域の医療・介護・福祉機関との連携を大切にしています。利用者さまの状態変化や生活環境の情報を共有し、必要な支援につなげることで、在宅療養の継続を支えています。

れ

連絡を密に



持続血糖測定器の確認

あんしん

ん



け

医療的ケアもお任せ



OTによるリハビリ



い

いのちと生活を
守ります

医療機器管理から
日常ケアまで

専門性を
活かした支援



暮らしに
寄り添う看護



住み慣れたご自宅で安心して生活を続けられるよう、看護師・リハビリスタッフがご自宅へ伺い、医療的ケアや生活支援、ご家族のサポートも含め、総合的に支援します。
まずはお気軽にご相談ください。

TEL : 076-433-2573 受付時間 : 平日 8:30~17:00
FAX : 076-433-2739

富山赤十字訪問看護ステーション 看護師長 津浦陽子

慰 霊 祭

総務課 中山 佳津子

1945年8月2日午前0時36分、富山市はB29爆撃機174機による大規模な焼夷弾攻撃を受け、市街地の99%以上が焼失しました。この空襲により約2万5千世帯・11万人が罹災し、3千人の尊い命が奪われました。広島・長崎への原子爆弾投下を除けば、地方都市への空襲として最大規模の被害であったと記録されています。

当院も病院・学校・支部施設が全焼し、多くの職員、入院患者、生徒が犠牲となりました。慰霊碑には、富山大空襲で犠牲となった職員、日中戦争以後に戦死・病死された医療関係者の名前が刻まれています。戦禍により失われた命と、地域医療・教育を支えてきた方々の歩みを偲び、平和への願いを新たにするため、当院では毎年慰霊祭を執り行っています。

今年は8月3日(月)、好天に恵まれた穏やかな空の下、職員が参列し、厳かに慰霊祭を執り行いました。参列した職員一同が静かに手を合わせ、犠牲となられた方々に深く哀悼の意を捧げるとともに、平和への思いを改めて胸に刻む時間となりました。



新たに地域医療連携の会に加入いただいた医院や先生の紹介

● ふなはしファミリークリニック

院長 渡辺 史子先生

中新川郡舟橋村竹内508 TEL 076-464-3330

● 自院PR



2026年6月、舟橋村に開院いたしました。これまで富山大学附属病院総合診療科、富山市まちなか診療所に勤務し、家庭医療・総合診療を専門としてまいりました。年齢や病気の種類を問わず、お一人お一人の生活背景に寄り添った診療を大切にしております。24時間365日対応の訪問診療と外来診療（火曜午前、木曜午後、月2回土曜午前）を診療の柱とし、

通院が難しい方々のもとへも伺いながら、地域の皆様が住み慣れたご自宅で安心して暮らし続けられるよう努めてまいります。将来的には、総合診療専門医の育成にも携わってまいりたいと考えております。



● 富山赤十字病院に望むことは？

在宅医療を受けている患者様であっても、介護者の状況などにより急性増悪時にご自宅で過ごすことが難しい場合には、貴院へ搬送させていただくことがございます。その際はどうぞご高配のほど、よろしくお願いいたします。また、当院ではポケットエコーや心電図、血液検査は実施可能ですが、それ以上の精査や専門的治療が必要な際には、ぜひ貴院の専門医の先生方をお願いしたいと考えております。今後とも、地域連携のほど何卒よろしくお願いいたします。

2026年度

やすらぎの会・クロスサロンとやまのご案内



開催日	テーマ	時間・場所
10月21日(水)	やすらぎの会 「乳がんについて聞いてみよう」	14:00～15:30 1階多目的室
11月18日(水)	やすらぎの会 「がん治療とスキンケアについて聞いてみよう」 クロスサロンとやま	13:30～15:30 1階多目的室
1月20日(水)	クロスサロンとやま	13:30～15:30 1階多目的室
3月18日(木)	やすらぎの会 「がん放射線治療について聞いてみよう」	14:00～15:30 3階討議室

※今年度より年間の開催回数が増えとなっております。
ご注意ください。

交流会は聴くことや話すことで気持ちを整理したり、療養のヒントを得る場となっています。がんの体験者やご家族であれば、どなたでも参加できます。ぜひ、ご紹介ください。



お問い合わせ：がん相談支援センター ☎076-433-2222(代)



患者支援センターからのお知らせ

「第96回地域医療連携の会」

日時：令和8年11月17日(火) 午後7時から
場所：富山赤十字病院 教育研修棟 3階講堂
演題：◇未定

循環器内科部 医師 横山 遥貴

◇『「点」から「線」に変わる心不全診療に必要なこと』

金沢大学附属病院 循環器内科
助教 下島 正也 先生



※当院では2026年9月より心不全再入院予防継続管理料1、管理料2を算定予定です。
今回の研修は、心不全再入院予防継続管理料の施設基準の研修となります。
みなさまの参加をお待ちしております。

9月、10月の外来診療に関する医師不在日案内

9月

科名	医師名	不在日
眼科	辻屋 壮介	18日(金)
	片岡 大智	24日(木)、25日(金)
歯科口腔外科	石戸 克尚	1日(火) PM、3日(木) PM、4日(金)
	尾崎 恵悟	30日(水)
皮膚科	小林 洋介	10日(木)、11日(金)
小児科	足立 雄一	18日(金)
	津幡 眞一	17日(木) AM
	眞島星利奈	15日(火) PM
呼吸器外科	川向 純	24日(木)
耳鼻いんこう科	赤荻 勝一	17日(木)
整形外科	橋本 浩	9日(水)、10日(木)、11日(金)、14日(月)
	野上真紀子	25日(金)
内科	賀来 文治	10日(木)、15日(火)
	仙田 聡子	4日(金)
	堺 和花	25日(金)、29日(火)
	澤田 凌	7日(月)
	松田 憲彦	28日(月)
泌尿器科	長坂 康弘	7日(月)、8日(火)、9日(水)
	上田 太郎	14日(月)、15日(火)、16日(水)



※不在日には、代診を立てております。

10月

科名	医師名	不在日
眼科	辻屋 壮介	29日(木)、30日(金)
歯科口腔外科	石戸 克尚	16日(金)
	尾崎 恵悟	1日(木)、2日(金)、5日(月)、6日(火)
皮膚科	中尾 将治	1日(木)、2日(金)、5日(月)、15日(木)、16日(金)、29日(木)、30日(金)
	小林 洋介	19日(月)、20日(火)、21日(水)、22日(木)、23日(金)
脳神経外科	桑山 直也	14日(水)、16日(金)、21日(水)、23日(金)
	津村貢太郎	26日(月)、27日(火)、29日(木)
小児科	足立 雄一	9日(金)、16日(金)
	津幡 眞一	15日(木)、16日(金)、22日(木)、29日(木) AM、30日(金)
	眞島星利奈	9日(金)、20日(火) PM
外科	竹原 朗	13日(火)
	吉田 純梧	23日(金)
耳鼻いんこう科	赤荻 勝一	22日(木)
整形外科	中村 宏	22日(木)、23日(金)
	杉森 一弘	22日(木)、29日(木)
	金武 航世	15日(木)、19日(月)
内科	平岩 善雄	21日(水)、22日(木)
	黒川 敏郎	22日(木) AM
	川根 隆志	14日(水)
高令心療科	殿谷 康博	6日(火)、13日(火)、20日(火)
泌尿器科	上田 太郎	22日(木)、23日(金)

編集後記

厳しい暑さが続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今年の1月から部署異動してきました土田です。油断すると水分を飲み忘れやすい自分としては脱水に気を付けなければいけないと思う毎日です。異動前は、脳神経外科、整形外科の病棟で看護を行っていました。異動当初は、病棟での支援とは違う面も多く戸惑うこともありましたが、病棟での経験も活かしつつ、保健師免許を活かして患者様の生活スタイルや強みを活かし、患者さん自身が生活に取り入れられる合併症予防や疾病の悪化予防などを一緒に考え、安心して手術や検査を経て退院出来るように支援していきたいと思います。皆様には、ご迷惑をおかけすることもたくさんあるかもしれませんがご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

(患者支援センター 保健師 土田 千紗)



紹介依頼など、下記までお問い合わせください。

富山赤十字病院
患者支援センター

TEL : 076-433-2492 FAX : 076-433-2493

e-mail : byousinrenkei@toyama-med.jrc.or.jp

夜間・休日のお問い合わせは…TEL : 076-433-2222(代表)

Fax : 076-433-2410(夜間・休日のみ)